

令和3年度花巻市大迫地域協議会（第1回）会議録

1 会議の日時及び場所

- (1) 日 時 令和3年8月4日（水）午後1時30分～午後2時58分
 (2) 場 所 大迫総合支所 2階 大会議室

2 出席委員（出席12名、欠席3名）

区分	団体及び役職名	氏名	住所	出欠
公共的 団体 から 推薦 された 者	花巻農業協同組合 女性部大迫支部長	菊 月 美智子	亀ヶ森	○
	花巻市森林組合 大迫事業センター所長	高 橋 純 一	外川目	○
	花巻商工会議所 大迫支部副会長	佐々木 行 雄	外川目	欠席
	花巻市社会福祉協議会 大迫支部長	川 村 均	大 迫	○
	花巻市大迫地域区長会 会長	金 卓 朗	大 迫	○
	大迫地区コミュニティ振興会 会長	菊 池 忠 久	大 迫	○
	内川目コミュニティ会議 会長	伊 藤 誠	内川目	○
	外川目地区コミュニティ会議 会長	佐々木 政 行	外川目	○
(2) 学識経験を有する者	亀ヶ森地区コミュニティ会議 会長	藤 田 哲 司	亀ヶ森	○
		瀬 川 行 夫	大 迫	○
		佐々木 和 宏	大 迫	○
		小 川 富 士	大 迫	○
		川 村 優 子	大 迫	欠席
		瀬 川 和 広	大 迫	○
(3) 公募による者		高 橋 千 明	大 迫	欠席
		応 募 な し	—	—

花巻市 所属	役職名	氏名	出欠
総合政策部	部長	松 田 英 基	○
秘書政策課	秘書政策課長	富 澤 秀 和	○
秘書政策課	課長補佐	伊 藤 浩	○
秘書政策課	企画調整係主査	小田島 大 介	○
大迫総合支所	支所長	中 村 陽 一	○
地域振興課	地域振興課長	高 橋 哲 也	○
市民サービス課	市民サービス課長	佐 藤 充	欠席
地域支援室	地域支援監	黒 沼 寿 夫	○
地域振興課	課長補佐（地域づくり担当）	伊 藤 葉 子	○
地域振興課	課長補佐（産業・建設担当）	吉 田 幸 弘	○
市民サービス課	課長補佐	佐々木 明 子	○
地域振興課	地域づくり係長	山 影 博 能	○

・傍聴者 なし

3 議 題（説明事項）

- (1) 花巻市過疎地域持続的発展計画の策定について
- (2) その他

4 議事の概要

開会に先立ち、大迫総合支所長から新任の伊藤誠委員と佐々木政行委員に対し辞令書を交付

- (1) 開 会 (地域振興課長)
- (2) あいさつ (大迫地域協議会長)
- (3) 委員紹介 (地域振興課長)
- (4) 説明及び審議 議長：瀬川行夫会長
 - ①花巻市過疎地域持続的発展計画の策定について
総合政策部長より諮問書の提出
(説明：総合政策部長、秘書政策課長 他)
 - ②その他
なし

主な質疑の内容は、次のとおり。

① 花巻市過疎地域持続的発展計画の策定について

(瀬川行夫会長)

ご説明ありがとうございました。これまでの説明に対する質問とご意見を伺います。

(菊池忠久委員)

まずは新たな過疎計画の策定にあたり、ワークショップを開催し住民から出された意見を慎重に検討され、新しい計画に盛り込んでいただき感謝申し上げます。特に街並景観整備事業、これは、人口が減少し来訪者も減少する中、街並みの活性化対策として新規に取り上げたということは、地域コミュニティを担当する者として感謝申し上げます。また、この街並景観整備事業について、市は早速、組織を立ち上げ、過疎計画に向けた取り組みをされており、市の並々ならぬ意気込みを感じているところでございます。もう一つは、ワークショップで出された様々な意見ですが、私もワークショップに参加しており、どのような形で参加者にお示しするのか気になっておりましたが、このように、解りやすく一覧表にまとめていただき、配布されました。これについても、きめ細かな対応をしていただき感謝申し上げます。

私からの質問は2点ございます。

1点目は、資料1の3頁に本計画の事業数と事業費が参考として掲載されておりますが、事業費75億7千万円のうち大迫地域に関する分がどの程度なのかを教えてください。

2点目は、28頁と29頁の現状と問題点の大迫地域と東和地域の中心市街地の通行量、交通量のところで、29頁の表の歩行者の部分を見ていただくと、大迫地域では、休日の歩行者数が令和元年と比較して、令和2年の方が若干増えております。平日では倍近くにも増えております。28頁には、大迫地域では休日が若干増え、平日が増加していることと、東和地域ではいずれも減少している旨が述べられております。これは1年間を通じて調査したものではないのだろうと思われまます。この表をグラフにするとジグザグなグラフになると思います。この現状の把握という部分では、過疎であるから通

行量、交通量が減少しているという実態を反映した見方ができないデータ分析になっていると思います。この調査について、令和2年は新型コロナの影響か何かがあったのかもしませんが、東和地域と大迫地域の平日と休日の通行量、交通量の調査データをどう捉えているかお伺いします。またこのようなデータは、誤解を招きかねないと思いますが、適切なのかという部分をお答えいただきたいと思います。

(瀬川行夫会長)

2点のご質問でした。1点目は資料1の75億円の内訳について。2点目は資料2の29頁、人口動態についてのデータをどう捉えているかということでした。

(小田島秘書政策課主査)

事業費の内訳について説明させていただきます。事業の実施について大迫地域のみで実施するもの、東和地域のみで実施するもの、そして大迫地域と東和地域の両方で実施するものの3パターンがございまして、大迫地域のみで実施する事業費の合計は5億8千万円程になっております。

(富澤秀和秘書政策課長)

1点目の両地域それぞれの事業費について、例えば道路整備事業で申しますと、路線毎に積み上げたものを細かく掘り下げれば、それぞれの地域ごとの事業費の算出は可能ですが、計画上は大迫・東和それぞれの地域で行う複数の道路整備関係の事業については、まとめて1本の事業として掲載しておりますので、大迫単独の事業の割合が小さく見えてしまうというところはございます。

2点目の通行量、交通量についてのご質問は、中身を含めて確認をしてから、改めて回答させていただきたいと思います。

(松田英基総合政策部長)

通行量、交通量の調査は、毎年、花巻商工会議所で行っている「花巻市街地通行量及び交通量調査」の結果を記載しております。この調査は大きなイベントの開催日と重なりそうな期間は行わないなど、なるべく実施条件を揃えて行っておりますが、調査当日の天候などにも左右されることから、大迫地域に限らず、どの地域でも、年々商店街の店舗が減少しているにも関わらず、歩行者が増えた、という結果に見える年もあるという現実がございます。この点については引き続き調べさせていただきたいと思います。

(菊池忠久委員)

資料1については了解しました。

資料2については、本計画は過疎計画でありますので、本来であれば人口が減っていることに対する事業であります。読む側として、これが年平均を示すデータであると誤解したわけです。先ほど松田総合政策部長がおっしゃったように、例えば一定期間の調査結果である旨が読み取れるのであれば、このような誤解を生じずに済むのではないかと思いますので、どのようなデータであるのかを記述したほうが良いのではないかと思います。

(瀬川行夫会長)

資料2について過疎計画に対して誤解を招くようなデータであるので注釈などを付けてはどうかというご意見でした。

その他にございませんか。

(小川富士委員)

過疎であるということは今の東和地域の人口が自然に増加するという事は、なかなか考えにくいことだと思いますので、移住、定住者を積極的に取り入れるというのが最大の課題であると思います。これについて地域おこし協力隊の方々も重要な役割を担い、

定住された方もいらっしゃいますので、貢献度は大きいものがございます。情報として2009年度からこの地域おこし協力隊について政府が進めているわけですが、2019年度は少し減っていますが、右肩上がりに増えており、2024年度には、8千人を計画され、報償費や事業経費の増額が見込まれているということです。市では首都圏への働きかけをされていると思いますが、もう少し力強くPRをしていただき、地域おこし協力隊の隊員数が増え、移住、定住者の増加につながるようにしていただければと思っています。

そこで、地域おこし協力隊の募集について、こういったPR活動をされているのかということと、支援もされていることと思いますが、例えば第2子、第3子、以降の子育て支援を行うなど、市はどのような支援を行っているかをお伺いします。

また、中心商店街は新型コロナウイルスの影響も含め、大変な状況になっております。日中は人通りもなくなり、店主も高齢化し、事業の継続問題もでてきております。特色のある取り組みを行い、交流人口を増やそうとする動きも始めたばかりではありますが、喫緊の課題として、このままでは商店街が消滅するのではないかとというくらいの危機感を持っていかないと、将来的に大迫地域の人口は2千人を欠けるとの推計もあると記憶しておりますので、これまでの農林業関係だけではなく、起業等に意欲を持った若者に対して、空き店舗もございますので、呼びかけていただければと思います。

(瀬川行夫会長)

ありがとうございました。ただいま小川委員からは、移住、定住者を増加させるための首都圏への働きかけについてと、移住者に対する支援の実態はどのようになっているかということ。また、商店街の消滅を抑えるための方策にも力を入れてほしいとのご意見でしたが回答ができる部分はありますでしょうか。

(松田英基総合政策部長)

本計画は過疎地域からの脱却というのが一番の目標であります。小川委員がおっしゃいましたように、現実として人口の自然増は難しいと考えております。まずは今ここに住んでいる方々の生活を守るといいますか、この地域で今後も安心して暮らしていけるという状態を維持していくために、道路整備などのハード事業は当然ながら、乗り合いタクシーなどのソフト面の充実も図っていくということが重要であると考えております。

さらに、移住定住ということで地域おこし協力隊についてのご質問がありました。ここで、今の隊員が何人いるかという資料はございませんが、一昨日の新聞に東北6県の地域おこし協力隊の定着率についての記事が掲載され、岩手県は70%を超えて東北6県の中では最も高い割合である旨の内容でした。本市でも、ぶどう関係でいらした方で任期終了後に本市に残っていただいている方もいらっしゃいます。首都圏でのPRについては、希望される方々に集まっていたり、インターネットサイトに掲載したり、マッチングのイベント等に参加するなどの募集方法を活用しております。今は新型コロナの蔓延により直接お会いできない状況ではありますが、今回も新たに2名の募集をしようと計画しております。

地域おこし協力隊の皆様に来ていただくためには、活動内容も重要ですが、そのご家族への支援も大事ではないかのご指摘についてであります。花巻市では子育て支援の充実について、保育料の減免や医療費の免除の拡充など、他の自治体と比較しても充実しているのではないかと考えております。これは、過疎地域だけではなく、市全体として人口減少は進んでいることから、市全体の問題として取り組んでおりますし、こういった子育て支援制度については、地域おこし協力隊を募集する際の当市のアピールポ

イントにも繋がっていると考えております。

中心商店街の活性化についてですが、大迫の特色の一つとして、昔は宿場町であり、今もなお、趣を残している建物がございます。そういった雰囲気を出して、訪れる人を増やす取り組みをしている他の街もございまして、大迫地域でも昔からの建物を調査させていただき、その上で昔の雰囲気を出すことができるのか、またそのためには、どのようなことができるのか、大迫総合支所を中心に検討しているところでございます。

商店街に若者が集まるような方策についてであります。大迫に限らず、石鳥谷や東和、花巻でも大きな課題であり、随時できることは行いますし、イベントなども行っておりますが、実際には難しい課題であると感じております。

(中村陽一大迫総合支所長)

大迫地域については、小川委員もご存じのとおり、先日、街並み整備についてお集まりいただいたときに、後継者問題についてのお話がありましたし、店主の高齢化についてもお話がございました。そういった街並み整備を積極的に行い、多くの人に来ていただいて、物が売れ、賑わいが出てくれば、若い方々もここで事業を始めてみようかなとか、イノベーションをしてみようと思えるようにしたいと考えておりますが、一朝一夕にはできませんし、特効薬のようなものもございません。松田総合政策部長からございましたように、各種イベントや、リノベーション、街並み整備も含め、複合的な施策を行いながら、若い人を呼び込んで、ここで何かをすれば人が集まり、商売ができるということがないと、ただここで、何かをして欲しいと言っても、生業にならなければやらないわけです。生業になるように複合的に施策を組み合わせる中心市街地、商店街の活性化に取り組んでまいります。

当然、商店街の方々にもご協力をいただかなければできないことがたくさんございます。花巻商工会議所とも協力して進めてまいりますので、よろしく申し上げます。

(小川富士委員)

丁寧に説明をしていただきありがとうございました。

せっかく、政府が2024年度に8千人の地域おこし協力隊員を募集するという方針を示しておりますので、何とか商店街の活性化に結び付けるような施策を行っていただければと思います。今後ともお力添え、ご支援をいただけるようお願いいたします。

(瀬川行夫会長)

移住、定住については、市のホームページに移住者の声が掲載されております。花巻に来て良かった点などが掲載されておりますが、数が少ないのではないかと思います。短い内容でもいいので、移住されてきた方の多くの声が掲載されれば、花巻は良いところだなというイメージに繋がり、移住について考えるスタートになるのではないかと思います。ホームページの容量の関係もあるかと思いますが、そういった方向で進めていただければと思います。

(藤田哲司委員)

計画案では、過疎地域持続的発展特別事業をそれぞれの施策区分ごとに表している表がありまして、それを再掲しているのが70頁からですが、区分が合わないところがあります。

まずは50頁の生活環境の整備というところの過疎地域持続的発展特別事業(7)の(4)防災・防犯の避難対策事業がありますが、71頁の生活環境の整備のところには掲載されておられません。

2点目は、54頁に、子育ての施策や高齢者福祉に関する事業が掲載されておりますが、

71頁では事業名は合っているのですが並び方が違います。いずれも内容はよいと思いますので、整合性を持って整理すればよいと思います。確認願います。

(富澤秀和秘書政策課長)

藤田委員のご指摘ですが、計画案の54頁の(3)など、計画案の持続的発展区分と、巻末に再掲されている区分とにずれがあるとのことのご指摘ですが、おっしゃるとおりでございます。整合性をもって整理いたします。

(瀬川行夫会長)

これまで、資料の一部に整理を要する部分があるのではないかとのご指摘もございましたが、計画内容自体については、これまで修正意見はないようでございます。他にご意見等がなければ、本計画案について了としてよろしいかをお伺いしたいと思います。

それではお諮りします。花巻市過疎地域持続的発展計画の策定について、本計画案を了としてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

(瀬川行夫会長)

それでは本件については原案を了とする旨、答申します。答申書の文案については会長に一任いただくことでよろしいかお諮りします。

(「異議なし」の声あり)

② その他

(瀬川行夫会長)

次に②その他であります。それでは、委員の皆様から何かございますか。

(「なし」の声あり)

(瀬川行夫会長)

以上で、本日の協議を終了します。

(6) 閉 会 (地域振興課長)